



SⅡ学校だより

No.02



小豆沢学びのエリア(志村二小・志村四小・志村二中)

校長 小室 仁一

志村第二中学校教育方針重点項目

本校の教育目標である「自ら考える力・お互いに思いやる心・共にやり抜く力」が身につけられるよう生徒を育成していきます。その生徒を育成するために、今年度の学校経営方針の5つの重点があります。

第1は「教員の指導力向上」です。

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話で深い学びの実現に向けた授業改善をし、板橋区授業スタンダード S である、授業内で自己選択、自己決定、自己調整できる授業展開を工夫し、先生方の指導力向上を進め、生徒の考える力を伸ばします。

第2に「生徒が創り上げる学校行事」です。

学校行事の中で生徒が主体となって活動できる場を設定し、生徒の心を揺さぶり感動体験を味わわせ、生徒のやる抜く力を育てます。

第3に「コミュニケーション能力の育成」です。

学活や道徳などに構成的エンカウンター等を活用し自己肯定感の向上・感情のコントロールやコミュニケーション能力の育成をし、思いやりの心を育てます。

第4に「生徒の居場所の確保と学びの多様性の対応」です。

教室に行きづらい生徒に対して、プラスルームを開設して学習の場、居場所を確保し、学びの多様性に対応していきます。昨年度から、キズキ株式会社の専門性を持った方が、火、木の午前中に生徒の居場所に入ってもらっています。また、そのほかの時間も教室に入りづらい生徒に対して、サポート等を行います。さらに、リモート授業を実施していますので必要な場合はご相談ください。

第5に「働き方改革」を実施します。

先生方が働きすぎて倒れてしまったり、病気になったりしないようにしていきます。そのため、教育課程の見直しや仕事の効率化を図ります。対応として予定表の急な変更があるかもしれませんがご理解をお願いいたします。また、板橋区でも働き方改革の一環で、部活動の地域移行が進んでいます。野球部は昨年度から板橋区野球クラブになり、今年度は、バドミントン部が8月から板橋区地域クラブになります。板橋区は少しずつ部活動を地域クラブに移行していますのでご理解ください。

最後になりますが、各ご家庭におきましては、お子様から学校の様子を聞いていただき、不明な点や疑問がありましたら、まずは、学校にご連絡いただければと思います。

お子様の成長をご家庭と学校とで協力して支えていきたいと考えています。今年1年間、本校の教育活動にご理解、ご協力をよりしくお願いいたします。

ゲシュタルトの輪

新しいクラスになって 1 ヶ月が経ち、友達とも少しずつ打ち解けてきた頃ではないでしょうか。5 月 30 日には運動会も控えています。練習を通して、クラスの絆をさらに深めていく時期です。今回は皆さんに「ゲシュタルトの輪」の話をします。

この図は、心理学で「ゲシュタルトの輪」と呼ばれる図です。「ゲシュタルト」とはドイツ語で「かたち(形態)」を意味します。

この図を見てください。皆さん、この図を見て、まずどこが気になりましたか。3 つの選択肢から選んでみてください。



- 1 特にどちらにも気にならなかった。
- 2 きれいな丸の方に目が気になった。
- 3 欠けている(穴の開いた)方が気になった。

実は心理学の実験では、多くの人が「欠けている円」に注目するという結果が出ています。さらに面白いことに、半分以上欠けているものより、「ほんの少しだけ欠けているもの」の方が、より気になってしまうのが人間の心理なのです。

私たちは、無意識のうちに「完全なもの」より「不完全なもの」に意識が向くようにできています。つまり、自分や友達の「長所」よりも「短所」、「できている部分」よりも「足りない部分」ばかりを気にしてしまう習性があるのです。皆さんは、良い部分が大半なのに、ほんの小さな欠けが気になって落ち込んだり、ストレスを感じたりしてはいませんか。これは人間関係でも同じことが言えます。「人は欠けた部分に目がいく」という性質のせいで、友達の素敵どころよりも、つい「嫌だな」「不愉快だな」と感じる部分にばかり反応してしまうことがあります。一度気になりだすと、そこばかりが大きく見えてくるものです。もし、自分が気になっている欠点を、誰かから「あの子、〇〇だよ」と否定的に言われたらどうでしょう。さらにその欠点ばかりが強調され、いじめに繋がってしまう恐れもあります。しかし、欠けている部分は、その人のほんの一部に過ぎません。そこに注目しすぎるのをやめて、図のつながっている部分——つまり「良い面」を見るように意識を変えてみてください。そうすることで、心にポジティブな変化が生まれます。

運動会の練習や日頃の学校生活の中で、友達の欠点を探すのではなく、良い面を見つけ合えるようになってほしいと思います。志村第二中学校の皆さんが、お互いを認め合い、励まし合える関係になれるよう、今日から少しだけ見る視点を変えてみてください。

